



11月16日・17日と神戸で行われたノミニー研修のお話をします。初日はロータリー財団のセミナーで、2日目がノミニー研修でした。詳しい資料は後日送ってくるので、皆さんに改めてご報告をしたいが、本日はポイントのみお話しします。

2019-2020のロータリー財団の目標はご存知の通りですが、年次基金を一人当たり150ドルにする。また年次資金寄付のゼロクラブをゼロにする、つまり全クラブ出していただくことを継続したい。いま3年連続で継続しており、引き続き皆様のご努力をお願いしたい。

2つ目は、DDF地区財団活動資金の活用をやろうというのが目標です。DDFは使われていないので残高がたくさんあるので、その活用をしたいということです。その為にDDF残高の20%をポリオプラスに寄贈すると、これが目標になっています。昨年も目標でしたが、昨年はDDFから10万ドル以上寄付した地区、残高の20%以上を寄付した地区、これは全地区がいずれかに所属しておりまして、この日に表彰式が行われました。10万ドル以上寄付した地区には大きな感謝状、20%以上の地区には小さな感謝状が授与され、我が2700地区は小さい方の感謝状が授与されました。

それからその活用の中で、ロータリー平和センターへの寄贈をふやせという話がでました。ロータリー平和センターをご存知のかた？(ほぼ知らない)。これはポールハリスの生誕50年を契機として2002年に創設されたもので、具体的には5つの世界の大学の中で平和構築をするエキスパートを育てようというプロジェクトです。養成機関が2年弱あるが、1大学10名、50名を応募して選抜して養成するというセンターです。1人養成するのに8万ドルくらいかかるということをお願いしている。今回も1500人が応募して50人が選ばれるわけですが、日本からはこれまで19年の間に37名の方が選ばれています。残念ながら2700地区からは、まだ一人も選ばれていない。ただ応募してないのではなく、非常に厳しくて、5年連続応募した若者もいたが、落ちてしまったということです。

もう一つはグローバル補助金・地区補助金を余っているのでもっと活用してほしい。その際にどうしたら承認を得られるかの説明もありました。聞くと大変厳しい条件がありまして、継続性の原則と協力者がいるかなどの審査基準があつてなかなか難しいという実態があります。2700地区からは今年北九州の方から申請があつているということです。ようするにロータリー財団というのは寄付をしっかりとやりなさいというのが、実は活動資金がたくさん余っている、その使い道がなくて今ポリオの方に寄付する形をとっている。しっかりと使えというのが、一方で審査基準が厳しくて通らない、なかなか行き詰った感じです。この辺をどう解決するのかは、来年1月の例会に2700地区の国際ロータリーの財団の委員長の岩崎さんという方が見えますので、しっかりお話を聞いていただいて質問をしていただければと思います。以上です。

